

第 39 回土木計画学研究発表会（春大会）：2009. 6. 13～14（徳島大学）
 企画論文部門 セッション討議内容の記録

セッション名：途上国における土木計画・開発プロジェクト	
日付：6月14日（日）曜日，セッション時間：14：20～15：50	
オーガナイザー・司会者名（所属）：加藤浩徳（東京大学）	
討 議 内 容	セッション全体：特になし
	（発表番号） 発表者名（所属）：(323)藤原章正（広島大学） ・変数 T が GDP 等の経済変数のみで示されることによる限界を考慮すべき→その通り。 ・結論として示されているグラフの解釈が困難である→今後検討したい。
	（発表番号） 発表者名（所属）：(324)西川秀次郎（長崎大学） ・ジェンダー問題について，なぜ被験者に直接質問しなかったのか？→今後とも継続して同一場所 で調査をすることから，変な不信感をもたれたくなかったため。 ・貧困のタイプは考慮したのか？特に借金の種類によって影響を受ける可能性有り→今後検討
	（発表番号） 発表者名（所属）：(325)川崎智也（東京工業大学） ・武器等の輸出入は考慮しているのか？→今回の研究では対象外とした。 ・危険物の国際輸送に関しては条約があるはずなので，それを考慮すべき→了解
	（発表番号） 発表者名（所属）：(326)田中貴之（長崎大学） ・病気に関する文化的な理解をどの程度考慮すべきなのか？ ・水をめぐるコンフリクトは存在するのか？→まだヒ素による被害が顕在化していないので，コン フリクトは発生していない。
	（発表番号） 発表者名（所属）：(327)加藤浩徳（東京大学） ・なぜ自転車の都心部流入が規制されるのか？→安全確保のためである。

※発表件数に応じて適宜追加してください。